

第5章

魅力・元気・文化を誇るまち

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)													
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目												
512	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	事業の目的達成に向けて、成果が出始めているため。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も														
		最優先	自治事務								25,809千円		25,638千円	企業立地等奨励金の交付件数 工場等の立地相談対応件数 都市型産業等育成補助金の交付件数	企業立地等奨励金の交付件数	誘致対象事業者の新規立地を、年間1件以上あることを目標とし、交付件数を年度ごとに1件ずつ加算した。	埼玉県(企業立地課)との情報共有を図り、埼玉県においても、所沢市への企業誘致活動を共同で行っている。	9 産業と技術革新の基盤を作る								
		根拠法令	所沢市企業立地支援条例、及び、同施行規則 所沢市都市型産業等育成補助金交付要綱								R4予算現額		R4決算額(見込み)						R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
		企業誘致活動推進事業	事業の目的及び具体的な内容								R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	実績	6件	6件	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
			本市の立地環境を活かし、企業立地等奨励金や補助金により製造業や都市型産業等(情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等)の立地・拡大の推進及び育成を行い、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものである。								0.80人		0人										6件	6件	目標達成	
			6,384千円								0人		36件										6件	6件	R5目標	R5実績
			R4正規職員人件費								R4その他職員従事割合		4件										6件	6件		
		期間	H24 ~								0.63人		0人	5,041千円	6件					現在の課題・企業誘致のためにさらに周知が必要である。 今後の取組・引き続き関係機関と連携し、企業誘致活動を実施する。	市内に新たな企業を誘致することで、所沢市の経済成長へ繋げることができる。					
		513	産業振興課								実施計画ランク		事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を縮小するなど感染症対策を実施しながらの支援となったため、目標値の達成はできなかった。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も				
											重要		自治事務								1,350千円		1,350千円	創業支援対象者数 創業者数	創業支援対象者数	産業競争力強化法に基づく本市の創業支援等事業計画による創業支援の対象者
根拠法令	産業競争力強化法			R4予算現額	R4決算額(見込み)	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析																		
新規創業者等支援事業	事業の目的及び具体的な内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	393人	250人	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								どのように貢献したか					
	地域における創業者を支援し、地域の活性化、雇用の確保を図ることを目的として、開業セミナー、開業カフェ、専門家による無料個別相談会等、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画に沿って、商工会議所等と共に事業を展開するもの。			0.27人	0人																		245人	393人	245人	
	2,155千円			0人	13人																		393人	245人	R5目標	R5実績
	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合	2,161千円																		393人	393人		
期間	H12 ~			0.27人	0人	2,161千円	393人				新型コロナウイルス感染症の影響から、創業の機運の高まりは見られず、目標を達成できなかった。	創業支援事業は、多様な支援メニューにより創業者を多角的に支援するものであるが、商工会議所及び創業・ベンチャー支援センター埼玉とも、密に連携し、創業に関する施策のニーズを的確に捉え、事業の充実を図っていく。	新たな創業により地域経済の活性化及び産業と技術革新の基盤の底上げに貢献した。													
513	商業観光課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業者の研究等の新たな連携やイベントの実施が困難であったことから申請がなかったため。	R4年度に改善した点								8 働きがいも経済成長も					
				重要	自治事務								400千円										0千円	補助対象研究事業数	補助対象研究事業数	予算額400千円(1事業限度200千円×2グループ)
		根拠法令	所沢市商業経営者グループ研究事業補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)								R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析											
		商業経営者グループ研究補助事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合								実績	2グループ	0グループ	R4目標値が未達成の理由・分析	R4目標	R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか				
			市内商業経営者グループが行う研究事業を募集し、補助金を交付する。 ・対象者 市内在住者又は市内に事業所を有する5名以上で構成する団体 ・対象事業 研究事業に要する調査活動費、研修費、消耗品費等 ・補助金額 経費の1/2以内(限度額20万円) 同一の研究事業は2回を限度としている。	0.12人	0人																		0グループ	0グループ		
			958千円	0人	0グループ																		0グループ	R5目標	R5実績	
			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1,200千円																		0グループ			0グループ
		期間	H25 ~	0.15人	0人								1,200千円	2グループ				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申請が無かったため。	市内経営者の育成・商業の発展のため、引き続き事業を行う必要があるが、近年申請が無いことから補助対象となりそうな事業者の情報収集や市内事業者への周知を積極的に行う。	本事業を通して市内商業の発展に貢献するものである。						

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	
514	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R4年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作る	
		重要	自治事務	298千円	161千円	きっかけづくり交流会参加団体数 きっかけづくり交流会新規参加団体数 農商工連携により創出された新事業数	農商工連携により創出された新事業数	支援事業に参加した事業者同士の連携により、実際に新商品や新サービスの創出につながった件数	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)							273千円		93千円
		期間	事業の目的及び具体的な内容 農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のための勉強会」、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図るもの。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.73人	0人	R3目標	R3実績			7件		
		H23 ~		5,825千円	0人	実績	28団体 4団体 4件	R4目標	R4実績			4件		
		R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.73人	0人	R4目標	R4実績	4件			目標達成済		
5,841千円	0人	R5目標		R5実績	7件	7件	7件	7件						
評価者	産業振興課長 奈良 和子	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	農業者の参加者数が減少傾向であるため、事業のマンネリ化を防ぐとともに、魅力ある事業へとブラッシュアップしていくことが必要。また、コロナ禍及びポストコロナでも有効な市の支援方法について、さらに考察を行うことが必要。	どのように貢献したか	異業種間、事業者間の連携による新たな付加価値を有する商品やサービスの創出に寄与した。									
521	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤を作る	
		重要	自治事務	5千円	5千円	新規先訪問件数 既存先支援件数(情報提供、イベント実施)	新規先訪問件数	地域産業を牽引する事業者への専門家の派遣、訪問の件数	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)							19千円		5千円
		期間	事業の目的及び具体的な内容 所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等との連携、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域を牽引する地域産業牽引事業者等を発掘し、これらの事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行うもの。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.31人	0人	R3目標	R3実績			6件		
		H31 ~		2,474千円	0人	実績	11件 11件	R4目標	R4実績			11件		
		R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.38人	0人	R4目標	R4実績	11件			目標達成済		
3,041千円	0人	R5目標		R5実績	5件	5件	5件	5件						
評価者	産業振興課長 奈良 和子	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	市民の認知度向上等のニーズに対応すべく開催している工業製品展示について、より多くの市民に見てもらうため、開催時期や開催方法の見直しをしていく。	どのように貢献したか	経営課題やニーズを把握したことにより、施策への反映を通して、地域産業の活性化に寄与できた。									
521	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標値を達成できなかった理由が補助対象経費の大きな事業を採択したことにより、交付件数を増やせなかったものであるため。	R4年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作る	
		重要	自治事務	3,000千円	2,476千円	補助金交付件数 補助金交付金額	補助金交付件数(商工会議所取りまとめ分は1件として扱う)	事業の目的を達成するために、十分な周知を図り、一定以上の補助金交付件数を目指す。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	地域資源活用・ものづくり総合支援補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)							4,000千円		4,000千円
		期間	事業の目的及び具体的な内容 市内の製造業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図るため、市内事業者が連携し、新商品やサービスの開発及び新たな販路の開拓を行う際に、その経費の一部を補助するもの。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.43人	0人	R3目標	R3実績			3件		
		H25 ~		3,431千円	0人	実績	4件 4,000千円	R4目標	R4実績			4件		
		R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.53人	0人	R4目標	R4実績	4件			申請件数は6件あったが、補助対象経費の大きな事業の採択が多かったため、目標値を達成できなかった。		
4,241千円	0人	R5目標		R5実績	5件	5件	5件	5件						
評価者	産業振興課長 奈良 和子	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	DXやゼロカーボン実現のための設備更新なども、本補助金の役割であると認識している。そのため、加要素の見直しなどを引き続き実施していく。また、予算額の増額により、より多くの事業者が制度を利用してもらうことで地域経済の活性化につなげていく。	どのように貢献したか	先端設備導入による高効率な産業基盤の醸成									

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目									
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額 R3決算額 1,200千円 1,200千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 1,556千円 1,384千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.20人 0人 1,596千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.32人 0人 2,561千円	R3予算現額 R3決算額 7,800千円 7,500千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 14,625千円 14,625千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.31人 0人 2,474千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.31人 0人 2,481千円	項目名 有機農業の取組面積	指標名 環境保全型農業に取り組んだ面積	目標設定の考え方・根拠 化学肥料・農薬等の影響による環境負荷を低減するために、環境保全型農業に取り組んだ面積を指標とする。	R3目標 R3実績 1,000a 1,000a R4目標 R4実績 1,200a 1,153a R5目標 1,200a	R4目標値が未達成の理由・分析 作物の生育状況等の都合から、当初取組が予定されていた面積から変更が生じたため。	A	化学肥料・化学合成農薬を用いない有機農業は、環境への負荷が少ない一方、農業者にとっては高度な手法が要求されるものであるが、前年度よりも取組面積が増加している。今後も、取組面積を増加していけるよう、引き続き農業者の取組等の支援を行っていく。	R4年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を									
		重要	自治事務										1,200千円	1,200千円	実績	1,153a	1,000a	1,000a	15 陸の豊かさを守ろう				
		根拠法令	環境保全型農業直接支払交付金交付要綱(国)、所沢市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱(市)										事業の目的及び具体的な内容	国、県、市一体で、土づくり等を通じた化学肥料・農薬等による環境負荷の軽減、農業が有する環境保全機能の向上が図られるような農業者の取組等に対し支援を行う。農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全等に資する取組が対象となる。化学肥料・化学合成農薬を使用しない取組である有機農業、または、化学肥料・化学合成農薬を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組とあわせて、次のいずれかの取組ひとつを選択して実施 緑肥(カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培) 炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用 地域特認取組 等	経営開始資金 交付者数(経営体数) 経営発展支援事業 交付者数(経営体数)	新規就農者数及び研修者人数(経営体数)	6人	6人	6人	6人	目標達成済	昨年度と同様、就農相談や制度説明だけでなく、実際に新規に就農した方への訪問や体験談などを聞くことにより、様々な観点から就農に向けた検討が行えるよう、就農希望者に声を掛けてきた。	2 飢餓をゼロに
		期間	H24 ~										0.20人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	15 陸の豊かさを守ろう
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	8 働きがいも経済成長も
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	15 陸の豊かさを守ろう
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	8 働きがいも経済成長も
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	15 陸の豊かさを守ろう
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	8 働きがいも経済成長も
		期間	H24 ~										0.31人	0人	3人	2人	6人	6人	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	15 陸の豊かさを守ろう
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額 R3決算額 190千円 105千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 190千円 148千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.11人 0人 878千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.14人 0人 1,120千円	項目名 対象法人数 対象面積	指標名 農地所有適格法人等規模拡大面積	目標設定の考え方・根拠 新規に参入してから3年目までの農地所有適格法人等が、該当する年度中に新規に借り受ける農地面積(賃貸借+使用貸借で、更新面積は含めない)を目標として設定した。(補助対象外の法人も含む)	R3目標 R3実績 5,000㎡ 20,817㎡ R4目標 R4実績 5,000㎡ 28,701㎡ R5目標 5,000㎡	R4目標値が未達成の理由・分析	S	新規に参入した法人による遊休農地の貸借等により、農地の維持及び地域農業の活性化に寄与した。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに										
		重要	自治事務									190千円	105千円	実績	19,927㎡	5,000㎡	20,817㎡	8 働きがいも経済成長も					
		根拠法令	所沢市農地所有適格法人等支援事業費補助金交付要綱									事業の目的及び具体的な内容	遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、賃貸借により耕作面積を拡大した際に、農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	経営開始資金 交付者数(経営体数) 経営発展支援事業 交付者数(経営体数)	新規就農者数及び研修者人数(経営体数)	6人	6人	6人	6人	目標達成済	参入希望の法人に対して、県や農業委員会と連携し、適切な指導を実施した。また、本事業を活用していない法人に連絡をとり、本事業を活用して更なる農地拡大を検討するよう提案をした。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額 R3決算額 190千円 105千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 190千円 148千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.11人 0人 878千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.14人 0人 1,120千円	項目名 対象法人数 対象面積	指標名 農地所有適格法人等規模拡大面積	目標設定の考え方・根拠 新規に参入してから3年目までの農地所有適格法人等が、該当する年度中に新規に借り受ける農地面積(賃貸借+使用貸借で、更新面積は含めない)を目標として設定した。(補助対象外の法人も含む)	R3目標 R3実績 5,000㎡ 20,817㎡ R4目標 R4実績 5,000㎡ 28,701㎡ R5目標 5,000㎡	R4目標値が未達成の理由・分析	S	新規に参入した法人による遊休農地の貸借等により、農地の維持及び地域農業の活性化に寄与した。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに										
		重要	自治事務									190千円	105千円	実績	19,927㎡	5,000㎡	20,817㎡	8 働きがいも経済成長も					
		根拠法令	所沢市農地所有適格法人等支援事業費補助金交付要綱									事業の目的及び具体的な内容	遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、賃貸借により耕作面積を拡大した際に、農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	経営開始資金 交付者数(経営体数) 経営発展支援事業 交付者数(経営体数)	新規就農者数及び研修者人数(経営体数)	6人	6人	6人	6人	目標達成済	参入希望の法人に対して、県や農業委員会と連携し、適切な指導を実施した。また、本事業を活用していない法人に連絡をとり、本事業を活用して更なる農地拡大を検討するよう提案をした。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	15 陸の豊かさを守ろう	
		期間	H27 ~									0.11人	0人	4法人	19,927㎡	5,000㎡	28,701㎡	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地貸借のマッチングや本事業の活用を勧める。	8 働きがいも経済成長も	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題		
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	農地の確保が難しい新規就農者への支援を積極的に展開し、必要な借受面積を確保したことにより、今後の農業の発展に寄与するものと考えられる。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに			
		重要	自治事務	200千円	46千円	農業機械の導入 新規就農者の農地面積拡大	新規就農者の規模拡大面積	新規に就農してから3年目までの新規就農者が、該当する年度中に新規に借り受ける予定の農地面積(賃貸借+使用貸借で、更新面積は含めない)を目標として設定した。	R4目標値が未達成の理由・分析			8 働きがいも経済成長も				
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	700千円							548千円		R4目標	R4実績	15 陸の豊かさも守ろう
		新規就農円滑化推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.11人	0人	実績	R3目標			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか
			農業従事者の高齢化や後継者が不足する中で、農業の担い手となる新規就農者に対し、農業経営の早期安定化のため、農業用機械の導入費用の一部や借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	0.11人	0人	878千円	0人		R4目標			R4実績				
			所沢市新規就農円滑化推進事業費補助金交付要綱	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.14人	0人		1件			5,000㎡				
		期間	H27 ~	1,120千円	0人	47,888㎡(補助額297,400円)	5,000㎡	5,000㎡	現時点の営農において、必要な農地面積を既に確保しているため。			評価者		農業振興課長 大館 寿貴	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理	
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	導入2年後の調査の結果、すべての経営体から経営改善の回答があり、認定農業者の経営を改善する上でも有効な事業と考えられる。また、令和3年度に新設した施設修繕について3件の利用があった。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに			
		重要	自治事務	21,150千円	21,085千円	施設整備 機械整備 施設修繕	機械・施設導入等によって経営が改善した経営体数	導入2年後の調査で、所得向上や労働時間短縮、安定生産など経営が改善したと回答した経営体の数を指標とする。目標値は、2年前の補助件数とする。	R4目標値が未達成の理由・分析			8 働きがいも経済成長も				
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	21,150千円							19,348千円		R3目標	R3実績	9 産業と技術革新の基盤を作ろう
		認定農業者等経営改善推進事業	事業の目的及び具体的な内容	0.37人	0人	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのよう貢献したか		
			認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設 農作業の省力化、効率化が図れる施設や機械 環境にやさしい資源循環型農業に資する施設や機械 緊急的な施設の修繕に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の1/2以内で施設整備は180万円、機械整備は135万円、施設修繕は50万円を限度として補助する。	0.37人	0人		16件	16件								
			所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市認定農業者等経営改善推進事業実施要綱	2,953千円	0人		3件	14件							14件	目標達成済
		期間	H20 ~	2,801千円	0人	17件	21件	3件	評価者			農業振興課長 大館 寿貴		農業経営の改善により、安定した農作物の供給に寄与した		
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標は達成できなかったが、薬剤等共同購入の業務フローを見直し、協会からの薬剤等の要望を募ることで、必要な資材を届け、家畜防疫対策に寄与した。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう			
		重要	自治事務	900千円	731千円	豚丹毒(生)予防事業 乳牛検査事業 豚熱予防接種	実施頭数の合計	家畜伝染病及び周辺環境問題の発生防止を図ることを目的としているため、予防接種の実施頭数を指標としている。目標値としては、家畜(牛・豚)飼育頭数と事業主体からの申請を基に、申請予想頭数を指標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析			2 飢餓をゼロに				
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	900千円							707千円		R3目標	R3実績	15 陸の豊かさも守ろう
		家畜防疫対策事業費補助事業	事業の目的及び具体的な内容	0.23人	0人	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのよう貢献したか		
			家畜への定期的なワクチン接種と検査を実施し、家畜伝染病の発生防止を図る。また、薬剤等の共同購入により、臭気及び害虫等による周辺地域での環境問題の発生防止を図る。事業主体の申請に基づき、家畜伝染病の予防接種並びに検査、環境汚染問題を回避するために、必要な薬剤の購入等経費の一部を補助する。	0.23人	0人		1,600頭	2,447頭								
			家畜伝染病予防法、所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市家畜防疫対策事業実施要綱	1,835千円	0人		848件	2,080頭							1,775頭	養豚農家におけるワクチン接種計画において、令和4年度は、接種の需要が少なかったことから、豚丹毒及び豚熱の予防接種件数が減少したため。
		期間	S62 ~	1,840千円	0人	97件	2,080頭	830件	評価者			農業振興課長 大館 寿貴		家畜伝染病の予防による食料の安定供給の確保		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	病害虫防除に関する情報や薬剤の適切使用について、必要な情報発信を行った。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに
		重要	自治事務	1,620千円	1,620千円	補助実施戸数	薬剤購入費の補助を受けた農家戸数	病害虫防除のための薬剤を購入した農業者への支援であるため、薬剤補助を受けた農家戸数を指標としている。目標値としては、事業主体からの申請に基づき実施するため、申請見込の農家戸数としている。					
		根拠法令	所沢市病害虫防除対策事業実施要領、所沢市農業振興総合対策要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)			1,620千円	1,620千円				
		事業の目的及び具体的な内容	安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。土壌病害虫、根腐病、野菜へのコガネムシ、茶の葉巻虫、カンザワハダニ等を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.12人	0人	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	
		期間	S63 ~	958千円	0人	実績	500戸	507戸	執行率が100%となっている補助事業のため、R3年度実績値に近い500戸を目標値としたが、資材価格の高騰等も影響し、目標値をわずかに下回る結果となった。				
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.10人	0人	R4目標	R4実績	500戸				445戸	
		800千円		R5目標	R5実績	500戸							
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標は未達だが、アンケートからは参加者の反応が良好であり、参加した農業者の意欲向上の一助になったと考えられる。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
		重要	自治事務	88千円	50千円	講演会の開催	認定農業者等講演会における認定農業者の参加人数	認定農業者の経営改善に向けた意欲向上を目的とした講演会であるため、講演会に参加した認定農業者等の参加人数を指標としている。					
		根拠法令	農業経営基盤強化促進法	R4予算現額	R4決算額(見込み)			93千円	70千円				
		事業の目的及び具体的な内容	認定農業者制度は、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標の達成に向けた「経営改善計画」の認定を受けた認定農業者が計画を実現するための方策に対して、重点的に支援措置を講じるもの。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.13人	0人	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	
		期間	H8 ~	1,037千円	0人	実績	50人	23名	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面での参加に消極的な認定農業者が多かった。(331名へ通知)				
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.16人	0人	R4目標	R4実績	50人				28名	
		1,280千円		R5目標	R5実績	50人							
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	コロナの感染防止対策を行ったうえで、人との接し方やコミュニケーション術などを学ぶ婚活サポートセミナーと交流会を開催し目標値を超える参加者があった。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに 8 働きがいも経済成長も
		重要	自治事務	530千円	530千円	研修・交流会、イベント開催数 農業サポーター人数	研修、交流会、イベントへの参加人数	生産者同士だけでなく、市民などの消費者との交流を促す機会を増やすことで、生産者や農作物とふれあいが、農業に対する理解と関心を深めてもらうことができるため、交流会等の参加者数を指標とする。					
		根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱 農業後継者育成確保推進事業実施要領	R4予算現額	R4決算額(見込み)			530千円	530千円				
		事業の目的及び具体的な内容	次代を担う優れた農業後継者及び担い手確保を目的に、所沢市農業後継者対策連絡会の事業の一環として、市内農家へのボランティアによる援農活動を中心とした農業サポーター制度、農産物収穫体験、農業後継者に対する結婚活動イベントなどを実施している。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.10人	0人	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析	
		期間	S58 ~	798千円	0人	実績	30人	20人	目標達成済				
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.13人	0人	R4目標	R4実績	30人				35人	
		1,040千円		R5目標	R5実績	30人							

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	連携の一環として、所沢市農業委員会委員、所沢市産業振興ビジョン推進会議委員、所沢市人・農地プラン策定検討会委員など各種委員の立場により、同学の知見を提供いただいているとともに、特産物のサトイモの点滴灌漑実証実験を市内園場で行っており、最新技術による収量増、省力化の取り組みを研究し、農業者へ知的資源の還元をしているところである。また、イベントや講習会を通じて、市民にも大学の知的資源を還元しているところである。	R4年度に改善した点	令和4年度においては、市民向け講習会の開催回数を増やし、市民への周知、大学の知的資源の還元をする機会を増やした。また、サトイモ点滴灌漑実証実験を、実際のサトイモ農家の園場に変更し、より実践的な検証実験を行った。	2 飢餓をゼロに	
		重要	自治事務	149千円	133千円	イベント等実施回数 委員等委嘱数	連携・取組みの実施回数	R3目標	R3実績						
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	229千円										189千円
		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.16人	0人	実績	4回	4回						
		国立大学法人東京農工大学の持つ知的資源を活用して、都市農業の重要性を再認識し、農業の担い手の育成・確保や将来の農業経営にかかる問題解決に取り組むとともに、市民に対しては、家庭菜園教室などを通じて「農のあるまちづくり」の推進を図る。また、東京農工大学と本市の若手農業者や先進農家の交流を促すことにより、農業振興を図る。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1,277千円	0人	12回	7回	12回						
		期間	R4正職員人件費	R4その他職員従事割合	0.23人	0人	3種	R5目標	12回						
		H25 ~	1,840千円												
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする情報提供は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、広報の役割を果たせるように努める。	R4年度に改善した点	情報を効果的に伝えるため、文字情報に加え、表組・写真等を配置し、読みやすい紙面構成に努めた。また、法改正や税制関連情報など、農業者の関心が高いと思われる事柄についての記事を掲載するよう努めた。	3 すべての人に健康と福祉を	
		優先	自治事務	471千円	416千円	発行回数 配布戸数	配布率(%) (配布戸数÷対象農家戸数)	R3目標	R3実績						
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	550千円										347千円
		農業委員会等に関する法律	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.13人	0人	実績	100.0%	100.0%						
		「農委だより」発行事業	農業委員会の業務や農業情報等を市内農業者に発信し、農業経営の安定と発展を図る。年2回発行し、市内農業者に郵送にて送付する。併せて、いるま野農業協同組合各支店や各まちづくりセンターに配架するとともに、市ホームページに掲載する。	R4正職員人件費	R4その他職員従事割合	1,037千円	0人	2回	100.0%						100.0%
		期間	R4正職員人件費	R4その他職員従事割合	0.21人	0人	2,438戸	R5目標	100.0%						
		S53 ~	1,680千円												
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、遊休農地は概ね是正されている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層遊休農地の発生防止・解消に努める。	R4年度に改善した点	遊休農地になりやすい傾向がある市外所有者に、調査の実施前に通知を送付し、維持管理を促した。	2 飢餓をゼロに	
		優先	法定受託事務	131千円	157千円	遊休農地調査面積 是正面積	是正率(%) (是正面積÷遊休農地調査面積)	R3目標	R3実績						
		根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)	131千円										156千円
		農地法	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.66人	0人	実績	80.0%	81.5%						
		事業の目的及び具体的な内容	近隣農地への悪影響を防ぎ、経営規模拡大を希望する農業者や新規就農者・法人等への農地の利用集積を図る。農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員が市内の農地の状況を調査し、遊休農地と判断した農地の所有者等に対して是正指導・農地利用意向調査を実施する。	R4正職員人件費	R4その他職員従事割合	5,267千円	0人	1,079,302㎡	80.0%						83.0%
		期間	R4正職員人件費	R4その他職員従事割合	0.65人	0人	900,165㎡	R5目標	80.0%						
		H11 ~	5,201千円												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標を達成し、目的とする農地の流動化は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層農地の流動化に努める。	R4年度に改善した点	主に新規就農者へ農地の貸付情報を提供するとともに、農業委員・農地利用最適化推進委員により出し手と受け手の利用調整を図った。	2 飢餓をゼロに
		優先	自治事務	0千円	0千円	売買および貸借成立件数	利用集積農地面積(m ²)	農地の利用集積が目的であることから、利用集積された農地面積を指標とする。農地の売り渡し・貸し付け希望に対して、買い受け・借り受け希望が少ないことを考慮した目標値とする。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	0千円	0千円	R4予算現額									
		所沢市農地サポート事業実施要綱	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	0.11人	0人	20,000m ²	60,593m ²								
		遊休農地及び遊休農地化するおそれがある農地の流動化を図り、農業上の利用を確保する。出し手の農地サポート情報台帳の作成及び受け手への閲覧を実施し、農業振興課、埼玉県、埼玉県農林公社等と連携し、農地の流動化を図る。	878千円	0人	9件	20,000m ²	27,859.81m ²	目標達成済						
		期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	27,859.81m ²	R5目標								
H22 ~	0.15人	0人		20,000m ²										
		1,200千円												
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする農地基本台帳の情報整備は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、農地情報を適正に管理する。	R4年度に改善した点	将来に向けての営農意向を調査・整理し、農地の流動化に活用した。	2 飢餓をゼロに
		優先	法定受託事務	2,245千円	2,005千円	農地等情報移動発生筆数	農地基本台帳システムへの農地等情報移動筆数の入力割合(%) (入力筆数÷農地等情報移動発生筆数)	農地情報の整備が目的であることから、情報の入力割合を指標とし、100%の入力を目標とする。	R4年度に改善した点					
		根拠法令	2,925千円	1,627千円	R4予算現額									
		農業委員会等に関する法律	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	0.46人	0人	100.0%	100.0%								
		法定化された農地台帳の公表に伴い、一筆ごとの農地情報を整理し、農地基本台帳として整備する。	3,671千円	0人	17,910筆	100.0%	100.0%	目標達成済						
		期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	17,910筆	R5目標								
H27 ~	0.48人	0人		100.0%										
		3,841千円												
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	短編映画を製作し、上映会(試写会)を開催することでPRを行った。上映会には、フランス関係者にも参加いただくなど日仏交流の推進を図ることができた。しかし、上映会開催による視聴者数について未達となってしまった。今後は効率的、効果的な周知方法を研究し視聴者数の増加を図る必要がある。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
		最優先	自治事務	-	-	短編映画の製作	短編映画を活用して所沢の魅力を発信した回数を視聴者数で測る。	R4年度に改善した点						
		根拠法令	15,000千円	14,996千円	R4予算現額				R4決算額(見込み)					
		-	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析						
		事業の目的及び具体的な内容	-	-	-	-								
		本事業は、日本で初めてできた飛行場跡地に整備されている「所沢航空記念公園」を観光資源として、さらに魅力を高めるため、「短編映画の製作と発信」等による磨き上げを行うことで、アフターコロナを見据えた市内のマイクロツーリズムを推進するとともに、フランス航空教育団を通じた日仏交流の更なる推進を図るものである。取組としては次のとおりである。 ・フランス航空教育団など、所沢航空記念公園にまつわる歴史を伝える短編映画の製作 ・上記映画による「航空発祥の地 所沢」を子供たちを中心に広く発信	0.66人	-	予告編1本、本編1本	150人	130人	招待客、一般客ともに直前でのキャンセルが発生してしまったため、想定よりも少ない人数となってしまった。						
		期間	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	130名	R5目標								
R4 ~	5,281千円	0.25人		1,000人										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当該事業は年々周知されており、相談件数も増加傾向にある。引き続き事業を実施していきたい。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
		重要	自治事務	2,400千円	2,400千円	本補助金活用店舗数	本補助金活用店舗数	予算額2,400千円 (1事業限度額1,200千円×2店舗)				R4目標値が未達成の理由・分析		令和5年度に向けて、より効果的な事業となるよう要綱の見直しを行った。	
		根拠法令	所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)			2,400千円	1,863千円						
		期間	H24 ~	事業の目的及び具体的な内容 新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗の活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。 ・補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.14人	0.01人		2店舗	2店舗						
					1,117千円		2店舗	2店舗	目標達成済						
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.36人	0.01人	R4目標			R4実績		R5目標	R5実績
2,881千円		2店舗	2店舗												
評価者	商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか	本事業を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。												
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるように関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを		
		重要	自治事務	8,621千円	8,591千円	トイレ清掃回数(狭山湖・トロの森観光トイレ) 桜並木ライトアップ日数 狭山湖利用駐車場利用台数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。				R4目標値が未達成の理由・分析		観光案内板の新設や道標の整備を行った。 ・観光案内板 板面貼り替え:2基 ・道標 更新:2基 撤去:1基	
		根拠法令	観光立国推進基本法	R4予算現額	R4決算額(見込み)			10,331千円	9,980千円						
		期間	H7 ~	事業の目的及び具体的な内容 市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。 ・狭山湖駐車場修繕 ・航空記念公園展示用輸送機維持管理 ・東川桜並木ライトアップ ・観光案内板設置・修繕 ・道標設置・修繕	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.36人	0人		6,900,000人	4,763,779人						
					2,873千円		415回	7,200,000人	集計中						
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.73人	0人	R4目標			R4実績		R5目標	R5実績
5,841千円		69,449台	7,500,000人												
評価者	商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか	観光案内板・道標の整備を行い、観光拠点の整備を行った。												
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント数が減少しているが、狭山丘陵の魅力発信に引き続き努めていく。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさを守ろう		
		重要	自治事務	90千円	0千円	共同事業への参加回数 広告物等作成数	狭山丘陵関連プロモーション件数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の件数とした。				R4目標値が未達成の理由・分析		R3年度に実施できなかった「SAYAMA KIDSDAY」に関連自治体と協力し参加することができた。	
		根拠法令	観光立国推進基本法	R4予算現額	R4決算額(見込み)			90千円	0千円						
		期間	H30 ~	事業の目的及び具体的な内容 武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		R4目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.17人	0.05人		5件	3件						
					1,357千円		1回	6件	5件						
					R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.16人	0人	R4目標			R4実績		R5目標	R5実績
1,280千円		1回	6件												
評価者	商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか	狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目									
532	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 6,250千円 4,985千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 4,753千円 3,867千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.57人 0人 4,549千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.85人 0人 6,802千円	項目名 WEB記事のPV数(台湾向け) 台北国際旅行博でのアンケート回収数 現地旅行会社へのセールス(訪問回数) 実績 293,184PV 302人 30回	指標名 Facebook "いいね"とTwitterフォロワー数の合計	目標設定の考え方・根拠 SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook"いいね"とTwitterのフォロワー数を指標とする。	R3目標 R3実績 5,400人 12,838人 R4目標 R4実績 5,500人 14,614人 R5目標 R5実績 5,600人	R4目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う各国の出入国規制が緩和され、日本でも10月11日より入国規制が緩和された。アフターコロナにおける観光需要を取り込むため、台北国際旅行博への出展やWEB配信を継続するとともに、台湾現地旅行会社へのPRを行った。また、観光案内版の設置等、外国人観光客受入体制を整備した。	R4年度に改善した点	8働きがいも経済成長も										
		優先	自治事務									10人や国の不平等をなくそう											
		根拠法令	-									本市を含む旅行商品が造成されるよう台湾現地旅行会社へのセールスを行った。											
		事業の目的及び具体的な内容	新型コロナウイルス感染症の収束後に想定される観光需要の回復を促し、本市のにぎわいを創出し、まちの魅力を高めるため「ところざわサクラタウン」や「西武園ゆうえんち」等を目的に来日する外国人観光客及び市外からの来訪者を対象に、豊かな自然や歴史等の地域資源について情報発信するとともに、市内における外国人観光客の受入体制整備を行う。具体的な取り組み内容 台北国際旅行博への出展 WEB記事(台湾向け)の掲載 台湾現地旅行会社とのネットワーク(リ観光案内版(小手指駅南口、新所沢駅西口等)の設置									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか										
		期間	H30 ~									評価者	商業観光課長 古田 晃一	入国規制の緩和後、ところざわサクラタウンを訪れる外国人観光客の団体ツアーが増えている。今後は、外国人観光客の更なる誘致や市内の回遊性の向上に資するため、旅マエ/旅ナカでの情報発信を行う。	観光案内版の多言語化により、情報のアクセスの平等性を確保した。								
		532	商業観光課									実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 0千円 0千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 0千円 0千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.35人 0.03人 2,793千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.47人 0.23人 3,761千円	項目名 シェアサイクル利用者数 シェアサイクルステーション数 広域連携による観光プロモーション数 実績 18,315人 76か所 14回	指標名 他自治体と連携したイベント等へ参加した回数	目標設定の考え方・根拠 観光客の回遊性を高めるためには、広域的な連携による取り組みが効果的のため。	R3目標 R3実績 23回 10回 R4目標 R4実績 24回 14回 R5目標 R5実績 20回	R4目標値が未達成の理由・分析 令和4年度中は、イベントの実施自体が見送られたものも多くあり、機会が限られたため。	C	市内のシェアサイクルステーション数は、年々増加しており、それに合わせて利用者数も増えている。また、今後イベント数の増加が期待されるため、他自治体との更なる連携を強化し、イベントの参加に取り組んでいく。	R4年度に改善した点	3すべての人に健康と福祉を
												重要	自治事務									11住み続けられるまちづくりを	
												根拠法令	-									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
												事業の目的及び具体的な内容	本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討し、広域連携の取組みを活かして回遊性の向上を図る。具体的な取り組み内容 シェアサイクルの導入 広域連携による回遊性向上に向けた事業の検討									シェアサイクルステーション数の増加に向け、民間事業者にも働きかけを行い、ポート設置を進めた。	シェアサイクルにより、誰もが移動しやすく、住み続けられるまちづくりに貢献した。
												期間	R2 ~									評価者	商業観光課長 古田 晃一
533	産業振興課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額 R3決算額 1,789千円 1,633千円 R4予算現額 R4決算額(見込み) 3,075千円 2,821千円 R3正規職員人件費 R3その他職員従事割合 0.74人 0人 5,905千円 R4正規職員人件費 R4その他職員従事割合 0.83人 0人 6,642千円	項目名 認定商品申請件数 認定商品選定件数 販売協力店舗数 (認定者自店舗含む) 実績 10件 5件 7店舗	指標名 【～R4まで】 認定商品の選定件数(H30～R4年) 販売協力店舗数(H30～R4年) 【R5～】 所沢ブランド特産品のPR回数	目標設定の考え方・根拠 魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値に設定した。	R3目標 R3実績 5件 5店舗 4件 7店舗 R4目標 R4実績 5件 5店舗 5件 7店舗 R5目標 R5実績 70回	R4目標値が未達成の理由・分析 目標達成済	A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。									R4年度に改善した点	9産業と技術革新の基盤を作ろう
				優先	自治事務																	11住み続けられるまちづくりを	
				根拠法令	所沢ブランド特産品認定要綱																	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
				事業の目的及び具体的な内容	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する物産を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする。 今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資していくものである。																	Instagramを活用したプレゼントキャンペーンを実施したり、市民フェスティバルに所沢ブランド特産品のブースを出展するなど、認知度向上に努めた。	農工商連携推進事業と有機的に連動することはもちろん、地域経済の循環、雇用増加など、当事業の持つ効果を念頭に置いて進めていくことが重要。また、認定品数が充実してきた段階に入ったため、周知、宣伝、販促をより重視していくことが重要。
				期間	H29 ~																	評価者	産業振興課長 奈良 和子

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
533	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、月3回開催を予定し、夏季の7・8月や、参加者がいない場合、台風で中止した場合を除き、23回開催し、目標の20回を上回った。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 15 陸の豊かさを守ろう	
		重要	自治事務	500千円	153千円	クアオルト健康ウォーキングの実施回数 参加人数 実践指導者の養成	「クアオルト健康ウォーキング」実施回数	本事業は「クアオルト健康ウォーキング」を多くの人に利用してもらい、健康づくりや産業・観光振興、環境保全等の事業を推進することを目的とする。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)							500千円		500千円
		ヘルスツーリズム産業創出支援事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			埼玉県のヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。	0.63人	0.10人		10回	5回						
			期間	H31 ~	5,027千円		23回	110名				20回		23回
			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.55人		0.05人	R5目標				25回		
		4,401千円		4名										
533	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	2年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、目標を10回に設定したが、実績が16回と目標を上回った。また、フレンドリーシティ感謝デー等のイベントにて当市のPRを図ることができた。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
		重要	自治事務	0千円	0千円	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定」(フレンドリーシティ)を締結している。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)							0千円		0千円
		ブランド価値の向上事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める「ふるさと所沢」への愛着や誇りを醸成していく。	0.45人	0.07人		10回	13回						
			期間	H17 ~	3,591千円		16回	10回				16回		
			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.55人		0.07人	R5目標				18回		
		4,401千円												
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	市内生産者数に対して活用件数が少ないことから、より一層の周知が必要であると考えられる。一方で、スマート農業技術を活用した農業者からは今後も活用を進めていきたいといった意向も伺っていることから、一定の効果はあったと捉える。	R4年度に改善した点	2 飢餓をゼロに 9 産業と技術革新の基盤を作ろう 15 陸の豊かさを守ろう	
		優先	自治事務	0千円	0千円	研修会等の参加・開催の取組件数 スマート農業(ドローン等)活用の取組件数 資材、薬剤等の購入に関する取組件数	本事業を活用した取組の実施件数	本事業はさいまもの安定した生産と品質向上を目的としているため、事業を活用した取組の実施件数を指標とする。目標値としては、前年度の実績を基本とし、向上を目指す数値を設定する。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	所沢産さいまも元気掘り起こし事業費補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)							11,250千円		2,262千円
		所沢産さいまも元気掘り起こし事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			全国でもトップレベルの生産量と品質を誇る、本市のブランド品であるさいまもの安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む事業の経費に対して補助を行う。	0.00人	0人		-	-						
			期間	R4 ~	0千円		0件	3件				460件		162件
			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.57人		0人	R5目標				267件		
		4,561千円		159件										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で縮小や中止とした体験農場講習会を、会場を増やし参加者の分散を図る体制を整えたことで多くの方に参加いただけた。	R4年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを	
		重要	自治事務	3,850千円	2,747千円	貸出区画数 体験農場利用料	講習会の参加人数	目標設定の考え方・根拠 体験農場の利用者を対象に、作物の作付や防虫など技術的な知識を習得するため、年度内に2回(春・夏)研修会を実施している。利用者の技術と意欲の向上及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		根拠法令	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	R4予算現額	R4決算額(見込み)							2,683千円		1,832千円
		事業の目的及び具体的な内容	市内9箇所の体験農場で市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深め、「農のあるまちづくり」を推進することを目的とする。また、利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めるため、講習会を実施する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.77人	0人	実績	30名			23名		どのよう貢献したか
		期間	S59 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	6,145千円	0人	503区画	R4目標			R4実績		「農のあるまちづくり」を推進するとともに、農とふれあう機会を増やし、農業への理解を深めた。
				0.58人	0人	1,759,275円	R5目標		目標達成済					
				4,641千円	0人		30名							
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	天候にも恵まれ、売り上げ実績を達成できた。特に、2日目の早い時間帯で準備していた商品を売り切る団体もあり、全体を通して売れ行きが好調であった。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と技術革新の基盤を作ろう 15 陸の豊かさも守ろう	
		重要	自治事務	500千円	0千円	農業祭実施 農業祭実行委員会 共進会、品評会	農業祭での売上実績	目標設定の考え方・根拠 事業の主たる目的が生産者と住民とのふれあい機会の創出による所沢農産物の地産地消の推進及びブランド化であることから、生産者と住民の接点となるイベント時の直接販売結果である売上実績を指標とする。	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		根拠法令	農業祭開催費補助金交付要綱	R4予算現額	R4決算額(見込み)							500千円		500千円
		事業の目的及び具体的な内容	販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.29人	0人	実績	未実施			未実施		どのよう貢献したか
		期間	S53 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	2,314千円	0人	10/29.30に開催 3回開催 5団体	R4目標			R4実績		事前の周知が不足していたので、その点を解消できるよう、普及啓発活動に注力し、さらに多くの交流の創出につなげる。
				0.48人	0人	3,841千円	0人		R5目標					市内の食料循環による持続性保持。品評会の実施による農業技術革新。農業が持続することによる豊かな自然環境維持。
									4,500千円			4,546千円		
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	体験学習型所沢農産物PR事業の親子収穫体験について、募集人数を拡大して開催した。また、豊島区メトロポリタンプラザビルでの新茶販売や、農林水産省と(公財)日本農林漁業振興会共催の「農林水産祭実りのフェスティバル」の出店を通じ、外部イベントを活用した所沢農産物のPRを推進した。	R4年度に改善した点	1 貧困をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを	
		優先	自治事務	813千円	742千円	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	目標設定の考え方・根拠 市内の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		根拠法令	消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。オリジナルデザインシール(2種4シート)の作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、市内外でのPR活動、長野県上田市との産業交流による所沢農産物PR	R4予算現額	R4決算額(見込み)							844千円		671千円
		事業の目的及び具体的な内容	市内9箇所の体験農場で市民が農作業を体験することにより、農業への理解を深め、「農のあるまちづくり」を推進することを目的とする。また、利用者の農業技術の向上を図り、農業への関心を深めるため、講習会を実施する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.67人	0人	実績	10組(20名)			10組(20名)		どのよう貢献したか
		期間	H31 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	5,347千円	0人	17組(34名)	R4目標			R4実績		所沢農産物のブランド化を推進することによる市場価値の向上。
				0.63人	0人				R5目標					
				5,041千円	0人				20組(40名)			17組(34名)		
							20組(40名)							

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題
534	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民フェスティバルでの「トコロんの誕生会」など所沢市イメージマスコット「トコロん」を活用したイベントを通して、市のPRを行った。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
		重要	自治事務	6,841千円	5,402千円	ロケ実績 トコロん貸出件数 市主催観光大使出演回数	Facebook「いいね」とTwitterフォロワー数の合計	SNSを活用した情報発信の効果と、所沢への関心度を図るために採用した。	後援したイベントをSNSで発信した。				
		根拠法令	観光立国推進基本法	R4予算現額	R4決算額(見込み)				5,243千円			4,676千円	
		効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			「所沢市観光大使」、イメージマスコット「トコロん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じ、観光客誘致のためのプロモーションを行うもの。	0.44人	0.73人		5,400人	12,838人					
				3,511千円	0.40人		20件	142件					
		期間	H3 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.93人	0.40人	5,500人	14,615人			5,600人	
541	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	人材確保に対する支援策の要望はあるものの、紹介事業者数の増加につなげられていないため。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
		重要	自治事務	138千円	132千円	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計) OPEN FACTORYへの参加企業数	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	市内中小企業の優れた技術・サービスをPRすることにより、市内事業者の人材確保に資することを目的とする。	将来の人材確保に結びつけていくために、就職を希望する高校生を対象とした「OPEN FACTORY TOKOROZAWA」を開催し、工場見学、社長・若手社員との懇談やものづくり体験をするなど、製造業をより身近に感じてもらうよう努めた。				
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)				152千円			121千円	
		産業人材確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			市内事業者の活性化を図るため、学生や大学等に対して、市内の中小企業の優れた技術・サービスをPRするなど、市内事業者の若年人材確保について支援を行うものである。	0.53人	0人		50者	15者					
				4,229千円	0人		17者	8社					
		期間	H31 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.62人	0人	50者	17者			25者	
545	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	コロナ禍により戸別訪問等推進活動が制限される中、成果指標の目標を達成し、農業者年金の加入推進を果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、制度の周知を図り加入推進に努める。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
		優先	自治事務	37千円	12千円	加入推進戸別訪問 新規加入者数	加入推進活動実施世帯数(世帯) 農業者年金を知らない農家のないよう、戸別訪問等による加入推進活動を実施した世帯数を目標指標とする。	農業者年金を知らない農業者をなくし、農業者が年金制度の詳細をいつでも知ることができる体制を整えることが目的であることから、加入推進活動実施世帯数を指標とする。	農委だよりへの制度案内の掲載や、戸別訪問による加入意向確認を行った。加入の意向を示した農業者には電話により再度連絡して詳細を説明し加入を促した。				
		根拠法令	農業者年金基金法	R4予算現額	R4決算額(見込み)				33千円			4千円	
		農業者年金推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する20歳以上60歳未満の農業者を対象に、将来サラリーマン並みの年金受給を確保し老後生活の安定を図る。	0.21人	0人		5世帯	16世帯					
				1,676千円	0人		1人	0人					
		期間	S45 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.30人	0人	5世帯	12世帯			5世帯	

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
542	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間予定の12回は実施できなかったが、開催できた9回については、感染防止対策を行った上で成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに 8 働きがいも経済成長も		
		重要	自治事務	924千円	693千円	講座開催回数 講座受講人数	受講率	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	-	924千円	924千円										
		期間	H12 ~	事業の目的及び具体的な内容	就業希望者の就職支援及び中小企業勤労者等のキャリアアップを目的としたパソコン講座を開催する。なお、ハローワークにおいて一定期間内に求職活動をしている失業者については、求職活動証明書の提出により、受講料(一部負担金)6,000円を免除とする取扱いを行う。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	12回 95人(定員96名)			95.0%		95.8%	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.54人	0人								
						4,309千円									
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
0.59人	0人	4,721千円													
542	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市内中小企業の勤労者とその事業主の福祉の向上のため、当センターの必要性は高いが、会員事業所からの会費のみで運営することは困難なため、今後も継続した支援が必要である。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
		重要	自治事務	10,004千円	10,000千円	会員数 会員事業所数 利用者一人あたり利用額	会員数	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター事業補助金交付要綱	10,004千円	10,000千円										
		期間	H10 ~	事業の目的及び具体的な内容	市内中小企業勤労者等の福利厚生の充実と発展を目的に、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して補助金の交付を行う。 (センターにおける実施事業) ○調査研究事業 ○研究会・講習会等の開催事業 ○情報提供事業 ○福利厚生事業 ほか	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	1,000人 348事業所 15,810円			1,210人		1,000人	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.13人	0人								
						1,037千円									
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
0.09人	0人	720千円													
542	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R4年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
		重要	自治事務	6,975千円	6,519千円	補助対象者数 補助対象事業所数	新規加入事業所数	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	所沢市中小企業退職金共済掛金等補助金交付要綱	6,900千円	5,726千円										
		期間	H1 ~	事業の目的及び具体的な内容	中小企業に勤務する常用労働者及びパートタイム労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図ることを目的に、市内事業所が退職金共済制度に新規加入した場合に、3年間を限度とし、1年間に支払った共済掛金(従業員1人当たりの月額掛金が1万円を超える場合は1万円を限度とする)の20%以内で補助金を交付する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	522人 92事業所			16事業所		24事業所	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.18人	0人								
						1,436千円									
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								
0.17人	0人	1,360千円													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
542	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	コロナ禍において、利用人数の制限等の解除を行い、年間利用率の回復に努めているが、目標の達成には至らなかった。しかし、確実に利用者数が回復していることは評価できるものである。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を					
		重要	自治事務	75,538千円	71,515千円	年間利用件数 トレーニングルーム利用者数	年間利用率(各部屋平均)	年間利用件数 / 総利用区分数(9施設×6区分×開館日数)	R4目標値が未達成の理由・分析			コロナ禍に移行後は、コロナ前同様の運営に近づけるように運営の変更を行った。						
		根拠法令	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)							実績		R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		ラーク所沢運営事業	ラーク所沢条例、ラーク所沢条例施行規則	31,972千円	31,969千円	8,717件	50.0%	42.7%	R4目標値が未達成の理由・分析			コロナ禍において、利用者のニーズに応じた施設運営や自主事業等を工夫して実施することで、利用率の増加を図っていく。また、指定管理者の応募時の提案事項の進捗状況や、施設の修繕や定期点検等が適正に行われているか等、定期的に確認していく。						
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合							0人		R4目標	R4実績	どのよう貢献したか		
			勤労者等の文化、教養及び福祉の増進を目的として設置され、現在は指定管理者が運営している。施設内の会議室等の貸し出しを行うとともに、各種自主事業を実施している。	0.40人	0人	50.0%	46.5%	利用件数については、コロナ禍に移行し前年比9%弱の伸びを示しているが、未だにコロナ前の実績値に至っていないため。				勤労者等の福祉の増進と雇用の安定をはじめ、市民のコミュニティ活動の推進に貢献した。						
			期間	0.36人	0人	R5目標												
		S63 ~	2,881千円	0人	50.0%				評価者			産業振興課長 奈良 和子						
		542	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名			目標設定の考え方・根拠		A	勤労者と使用者の双方が労働するうえでのルールについて、正しく理解することで、トラブルの未然防止になる。そうすることで、生産性の向上や社会の発展にもつながる。また、実際に発生したトラブルに対しては、専門家による一般労働相談を通じて問題解決へ導けるような体制を維持している。	R4年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
				重要	自治事務	393千円	215千円	埼玉県労働セミナー受講者数(延べ人数) 所沢市労働セミナー受講者数(高校生)(延べ人数) 一般労働相談者数	セミナー参加者のうち、勤労者及び使用者の受講者数(延べ人数)			受講者数のうち、勤労者及び使用者である受講者数を目標値とした。				R4目標値が未達成の理由・分析		埼玉県労働セミナーでは、コロナ禍でも受講者を増やすため、前年度に引き続き一部のセミナーをオンライン開催とした。所沢市労働セミナーでは、学生向けのアンケートとは別に、教員向けのアンケートを実施し、次年度の実施に向けた課題出し等を行った。一般労働相談では、年間スケジュールを記載したチラシを作成し配布するとともに、ホームページや事業者向けメルマガ
根拠法令	根拠法令			R4予算現額	R4決算額(見込み)	0千円	0千円			R3目標	R3実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
労働セミナー・労働相談等開催事業	事業の目的及び具体的な内容			0.37人	0人	227人	100人	185人	R4目標値が未達成の理由・分析	埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催。労働をめぐる様々なトラブルの解決等を目的として、労働セミナー、労働相談等を実施する。○労働セミナー ・埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催・就職を希望する市内の高校生を対象とする労働法の基礎を学ぶためのセミナーを開催する。○労働相談 社会保険労務士を相談員として、労働に関する相談を行うことで、労働者及び事業主が抱える様々な悩みや疑問を解決する。								
	労働セミナー・労働相談等開催事業			2,953千円	0人					177人	100人	194人	目標達成済			埼玉県労働セミナーでは、県と調整しながら、最新の動向を見極めつつ受講者のニーズに合わせた講座となるよう事業を進めていく。一般労働相談では、利用者に利用しやすい日程や時間帯で開催できるよう、今後も引き続き検討を行う。		
	期間			0.28人	0人	29人	100人				評価者	産業振興課長 奈良 和子						
	S57 ~			2,241千円	0人	100人												
542	農業振興課			実施計画ランク	事業の種類	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市ホームページでの周知(2回)、窓口での周知を行い、広く情報提供を行った。また、県立所沢おおぞら特別支援学校の農業体験学習授業に協力するなど、農福連携に向けた取り組みを進めている。			R4年度に改善した点		2 飢餓をゼロに
				重要	自治事務	0千円	0千円	農福連携情報提供回数 体験農場「福祉枠」利用区画数 先進事例調査研究回数	農福連携に係る情報提供回数	農福連携の取組みを推進するには、農業・福祉の連携事例や支援事業等の認知度向上を図る必要があるため、情報の提供回数を目標とした。令和5年度は、認知度向上を図るため情報提供回数は前年実績と同様とし、今後の取組みを検討する。	R4目標値が未達成の理由・分析					農福連携の認知度を向上させる必要があるため、引き続き情報提供を行っていく。また、庁内での連携体制の検討や、農福連携を希望する農業者への情報収集などを、農福連携を推進するための体制づくりを検討する。		
				根拠法令	根拠法令	R4予算現額	R4決算額(見込み)									0千円		
		農福連携推進事業	事業の目的及び具体的な内容	0.18人	0人	3回	3回	3回	R4目標値が未達成の理由・分析	農業分野と福祉分野の垣根を越えた「農福連携」の取組みを推進することにより、農業経営体には働き手を提供し、高齢者や障害者には生きがいや働く場を創出することで、農業分野での人手不足を解消しつつ障害者等の活躍を促していく。具体的には、先進事例の調査研究を進めるとともに、関係機関の協力を得ながら、取組みを周知し、農福連携を浸透させていく。また、連携を希望する事業者を対象に高齢者等の受入や農業参加に関する相談受付を行っていく。								
			農福連携推進事業	1,436千円	0人					1区画	3回			3回	目標達成済			
			期間	0.22人	0人	0回					評価者			農業振興課長 大館 寿貴				
			H31 ~	1,760千円	0人	3回												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	実施した講演会のアンケートでは、高い満足度を得ることができた。今後も、市民を交えた交流について検討していく。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に	
		最優先	自治事務	0千円	0千円	ティエーネ市との交流回数	関連事業への参加者数(R4は本事業に関する講演会)	市民に広く周知し、市民レベルの交流につなげていく必要があるため。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	-	R4予算現額	R4決算額(見込み)							2,348千円		1,921千円
		イタリア都市文化交流推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			東京2020大会においてイタリアのホストタウンとなったことを契機に、航空関連の共通点があることなどから交流の始まったイタリア共和国ティエーネ市との文化交流等を進め、国際理解や多文化共生の推進を図っていく。	0.00人	0人		-	-						
			0千円	0人	R4目標		R4実績							
			0千円	0人	100人		103人							
期間	R4 ~	4,081千円	0人	3回(代表訪問団の派遣、本事業の講演会、子どもの絵の交流)	100人	103人	目標達成済							
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、予定していた事業が実施できなかったため。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に	
		重要	自治事務	1,400千円	49千円	姉妹都市との交流 市民の国際意識を高める事業	友好委員会事業に参加した市民の数	外国の文化や姉妹都市交流に対する市民の興味・理解を促進する必要があるため。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	所沢市国際友好委員会交付金交付要綱	1,400千円	59千円									
		国際友好委員会交付金	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っており、この流れを促進していくため、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。 姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣 姉妹都市から来訪する訪問団との交流 姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援 外国人市民との交流	0.33人	0人		50人	-						
			2,633千円	0人	R4目標		R4実績							
			0.75人	0人	50人		-							
期間	S55 ~	6,002千円	0人	1回(ディケイター市への記念品贈呈) 1つ(国際交流フォーラムへの参加)	50人	50人	アメリカ合衆国・ディケイター市への市民訪問団の派遣及び中国・常州市からの友好訪問団受入等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、中止となったため。							
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、姉妹都市からの行政視察団の来訪がなかったため。	R4年度に改善した点	10人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に	
		重要	自治事務	989千円	31千円	姉妹都市から行政視察団を受け入れた数 姉妹都市交流事業に参加した市民の数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合	相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。	R4目標値が未達成の理由・分析					
		根拠法令	所沢市自治基本条例、第6次所沢市総合計画前期基本計画	4,618千円	1,691千円									
		国際交流推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析					
			様々な事業を通して姉妹都市を中心とした海外都市との関係を構築する。 姉妹都市との間で行政視察団の派遣・受入れを相互に行い、先進的な取組等について行政情報の交換を行う。 姉妹都市との間で周年に合わせて代表訪問団の派遣・受入れを相互に行うなど、信頼関係の促進に努める。	0.28人	0人		75.0%	-						
			2,234千円	0人	R4目標		R4実績							
			0.78人	0人	75.0%		-							
期間	~	6,242千円	0人	0団 0人	75.0%	75.0%	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、姉妹都市からの行政視察団の来訪がなかったため。							

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
561	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、利用団体数が増加し、目標値を大きく上回る施設稼働率を達成できたため。	R4年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
		重要	自治事務	13,044千円	12,250千円	年間施設利用日数(日) 利用件数(団体・個人)	施設稼働率(%) 年間利用回数 ÷ 年間利用可能回数(閉館日を除く)	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	所沢駅東口市民ギャラリー条例、所沢駅東口市民ギャラリー条例施行規則	R4予算現額	R4決算額(見込み)				12,782千円					12,504千円
		期間	H29 ~	事業の目的及び具体的な内容	所沢駅東口市民ギャラリーは、市民の文化芸術活動等の促進を図ることを目的とした施設であり、ギャラリーとして一般利用に供することを目的としている。また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市公共施設管理公社が実施している。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	50.0%			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析
						0.33人	0人					69.9%		
						2,633千円								
R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	235	50.0%	R4実績	目標達成済									
0.37人	0人	65.5%												
2,961千円														
評価者	文化芸術振興課長 近藤 真希	より多くの市民に利用いただけるよう引き続き指定管理者と連携し、様々な手法で広く施設の周知を図っていく。	文化芸術活動の発表とそれに触れる機会を提供し、所沢の文化の発展に寄与した。											
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	情報紙「ところざわ文化遺産」発行や市ホームページコンテンツ作成などを通じて、文化財情報の魅力的な発信に努めており、目標値も達成している。今後も多くの市民に文化財への興味関心を持っていただくことで文化財保護意識を高めていきたい。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを	
		重要	自治事務	3,379千円	2,898千円	所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数 啓発グッズの頒布数	所沢市web文化財保護課所管コンテンツのアクセス総数は、本市文化財に関する興味関心を示す数値と捉えることもできるため指標とし、前年度よりも上昇することを目標値とした。	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				3,813千円					3,695千円
		期間	H26 ~	事業の目的及び具体的な内容	文化財の普及啓発を行うことによって、多くの市民に郷土愛や文化財保護意識を醸成することを目的とする。市内の文化財や寺社などを紹介する「所沢文化遺産案内マップ」や文化財調査の成果などを紹介する情報紙「ところざわ文化遺産」の発行、また、市ホームページなど多様な情報発信により、文化財の保護と普及・啓発を図る。また、市の指定文化財を紹介するためのグッズとして、これまでクリアファイル(3種類)を作成し頒布している。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	530,000件			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析
						0.41人	0.2人					553,968件		
						3,272千円								
R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	545,448件	530,000件	R4実績	目標達成済									
0.40人	0.15人	545,448件												
3,201千円														
評価者	文化財保護課長 稲田 里織	組織統合に伴い、「ふるさと研究年報」を廃して新たに「文化財保護年報」を発行した。また、情報紙「ところざわ文化遺産」では、新指定の情報と共に最新の調査結果を写真を交えて詳しく掲載することで、市民等の興味関心を喚起する情報提供に努めた。	所沢市の歴史や文化財の情報を市民等に公開した。											
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの調査業務であり、特に調査にあたる職員の健康管理に注視しながら着実に調査を実施し、目標も達成している。	R4年度に改善した点	4 . 質の高い教育をみんなに 11 . 住み続けられるまちづくりを	
		重要	自治事務	37,450千円	25,864千円	確認調査実施件数 発掘調査実施件数 発掘調査実施面積	開発等により破壊される前に確認調査によって遺構の有無を判断し、本調査で迅速かつ正確に遺跡に関する記録を行うことが当事業の目的となっているため、確認調査の実施率を指標とし達成率100%を目標値とした。	R3目標	R3実績			R4目標値が未達成の理由・分析		
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				37,192千円					32,724千円
		期間	S51 ~	事業の目的及び具体的な内容	開発等により遺跡が破壊される前に、記録保存を行い、後世へ伝えることを目的とする。埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内で開発等が計画された段階で確認調査を実施する。その結果、遺構が発見され、開発等により破壊される可能性がある場合には発掘調査を実施する。発掘調査は、正職員と会年職員等で調査の規模・期間・難易度により適宜チームを編成して行う。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	100.0%			R3実績		R4目標値が未達成の理由・分析
						1.51人	10.50人					100.0%		
						12,050千円								
R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	99件	100.0%	R4実績	目標達成済									
1.01人	11.50人	100.0%												
8,001千円		376.44㎡												
評価者	文化財保護課長 稲田 里織	開発に伴う確認調査件数や区画整理事業などの大規模開発に伴う調査の増加により、業務量の更なる増加が見込まれる。発掘調査の担当職員は国の方針や県の基準により、考古学の専門知識を有する者でなければならないとされていることから該当する職員の増員等対策を早期に講じる必要がある。	発掘調査を実施することにより、地中に残された歴史を記録し後世に伝えた。											

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題	
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の予定どおり調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるよう、その下地となる遺物の整理保存に取り組んでいく。	R4年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに		
		重要	自治事務	11,452千円	9,722千円	年報掲載の確認・発掘調査数 報告書を刊行した発掘調査件数	発掘調査報告書刊行調査回数	R3目標	R3実績					R4目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				11,119千円						6,942千円
		期間	S52 ~	事業の目的及び具体的内容	報告書の刊行により発掘調査の成果を公開することで、市民をはじめ歴史及び郷土研究への貢献を目的とする。また、年報の刊行により発掘調査や確認調査の成果をいち早く公開することで、市民や関係事業者等に所沢市の中に刻まれた貴重な文化遺産を周知し、文化財保護意識を啓発することで、開発計画など遺跡の破壊を未然に防止する効果も期待できる。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標					R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.43人	6.00人		370件					372件	
						3,431千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	102件					380件	383件
0.28人	6.00人	11件	R5目標	R5実績	387件										
2,218千円	1,106千円	8,600人	8,600人	5,571人											
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルス感染症の影響により、普及事業は規模を縮小して実施したため目標値は達成できていない。埋蔵文化財は市の貴重な歴史資料であり、市民共有の財産として将来にわたって保存する意義を理解してもらうためにも、出張授業や「埋文まつり(埋文教室)」などにより情報発信を行っている。今後も様々な普及事業を通じて、本市にとって貴重な歴史資料である埋蔵文化財を、後世に伝えていくことの必要性を、市民や関係事業者の皆さんに理解していただけるよう、努めていきたいと考える。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
		重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+附加	1,913千円	1,495千円	小中学校対象(学校との連携)事業の参加者数 見学者・事業参加者等の人数	文化財公開活用事業への参加者数	R3目標	R3実績					R4目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	文化財保護法・所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				1,988千円						1,106千円
		期間	H6 ~	事業の目的及び具体的内容	郷土の歴史や埋蔵文化財保護について普及公開するため、次のような事業を実施する。 小中学校を対象とした来館授業・体験学習・出張授業等 施設見学 体験型イベント「夏休み埋文教室」の開催(土器や勾玉作りの体験) 最新発掘展示 外部公共施設等への資料貸出・展示	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標					R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.47人	0.50人		8,600人					7,554人	
						3,839千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	853人					8,600人	5,571人
0.39人	0.50人	4,248人	R5目標	R5実績	8,600人										
3,112千円	1,106千円	8,600人	8,600人	5,571人											
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の予定通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるよう、その下地となる遺物の整理保存に取り組んでいく。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
		重要	自治事務	12,215千円	10,955千円	整理作業遺跡件数 整理作業遺構件数 出土遺物の保存処理・化学分析	発掘調査報告書刊行調査回数	R3目標	R3実績					R4目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)				12,740千円						7,915千円
		期間	S50 ~	事業の目的及び具体的内容	遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくため、次のような作業を行う。 遺物の水洗 注記 接合 復元 着色 報告書掲載遺物の選出 実測 拓本 保存処理 科学分析 等	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	実績	R4目標					R4実績	R4目標値が未達成の理由・分析
						0.21人	6.00人		371件					372件	
						1,676千円	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	15件					380件	383件
0.21人	6.00人	8点	R5目標	R5実績	387件										
1,664千円	1,106千円	8,600人	8,600人	5,571人											

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																							
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目																							
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献																								
		重要	自治事務											493千円	408千円	伝統芸能発表会の鑑賞者数(出演者+来場者数) 重松流祭囃子保存会の活動参加者数(重松流祭囃子各活動の出演者) 岩崎獅子舞保存会の活動参加者数(奉納岩崎彫獅子舞の出演者+来場者数)	郷土の民俗芸能の披露日数	市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露される日数を指標としている。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに																	
		根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例											R4予算現額	R4決算額(見込み)						300千円	332千円	R4目標値が未達成の理由・分析	埼玉県事業「郷土芸能団体の記録動画作成事業」において、重松流祭囃子保存会のPR動画の撮影をしたほか、「埼玉県和文化総合WEBサイト」に「岩崎獅子舞」と「重松流祭ばやし」の概要を掲載し、情報発信に努めた。	11 住み続けられるまちづくりを												
		事業の目的及び具体的内容	事業の目的及び具体的内容											R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合						0.55人	0人	R3目標			R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み										
		市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ譲り伝え、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。主な内容は、伝統芸能発表会の開催(隔年)郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援	市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ譲り伝え、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。主な内容は、伝統芸能発表会の開催(隔年)郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援											4,389千円	0人						実績	10日	16日			R4目標値が未達成の理由・分析		どのよう貢献したか									
		期間	H5 ~											R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						0.28人	0人	R4目標			R4実績			新型コロナウイルス感染症の影響により活動を縮小・中止している団体の再開支援に引き続き努めていく。								
		2,218千円	0人											565人(重松流祭囃子保存会本部行事+青年部の参加人数)	10日						19日	目標達成済	文化財保護課長 稲田 里織			無形民俗文化財の紹介や各保存団体への支援を行い、本市の文化遺産保全を図った。											
		360人(出演者60人+来場者300人)	17日																																		
		562	文化財保護課											実施計画ランク	事業の種類別						R3予算現額	R3決算額								項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献
														重要	自治事務																						
根拠法令	所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱			R4予算現額	R4決算額(見込み)	2,406千円	1,593千円	R4目標値が未達成の理由・分析	各自治会の費用負担増大を踏まえて、山車の管理費補助金を25,000円から30,000円に増額した。	11 住み続けられるまちづくりを																											
事業の目的及び具体的内容	事業の目的及び具体的内容			R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.17人	0人	R3目標			R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み																									
市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付実績報告により管理状況等を確認する	市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付実績報告により管理状況等を確認する			1,357千円	0人	実績	100.0%	100.0%			R4目標値が未達成の理由・分析		どのよう貢献したか																								
期間	S56 ~			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.23人	0.3人	R4目標			R4実績			市民共有の財産である文化財を継続的に管理するためには、担当職員のスキルアップや、所有者(管理者)との連絡を密にするなど、費用以外の支援も積極的に担っていく必要がある。																							
1,822千円	0.3人			65件	100.0%	100.0%	目標達成済	文化財保護課長 稲田 里織			指定文化財管理費を補助することで、指定文化財を良好な状態で維持、保全し後世へ伝えていく。																										
1件	100.0%			100.0%																																	
562	文化財保護課			実施計画ランク	事業の種類別	R3予算現額	R3決算額								項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	評価理由			現状の課題	SDGsへの貢献													
				重要	自治事務																				9,179千円	8,092千円	来館者数 年間開館日数	年間の施設修繕件数	来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えていくために適正な施設管理をすることが目的であるため、修繕実施数を指標とし、過去3年間の年間修繕件数の平均値を必要数と考え目標値とした。								
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R4予算現額	R4決算額(見込み)																9,292千円	9,067千円			R4目標値が未達成の理由・分析	施設全体に目を配り日々の維持管理を行いながら小さな修繕箇所を発見し、職員ができることは業者任せにせず実施するよう努めた。				11 住み続けられるまちづくりを							
		事業の目的及び具体的内容	事業の目的及び具体的内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合																0.74人	0人			R3目標						R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
		来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	5,905千円	0人				実績	4件											5件	R4目標値が未達成の理由・分析			どのよう貢献したか												
		期間	H6 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				0.64人	0人		R4目標									R4実績	施設建設後30年近くが経過し、想定外の箇所に不具合が生じて急な修繕を要することも増えてきている。計画的な器具交換を実施するなど、施設の長寿命化に向けて引き続き適切な管理を行っていく。															
		5,070千円	0人	4,248人	6件				4件	一件当たりの修繕費用が上昇したため。		文化財保護課長 稲田 里織	埋蔵文化財調査センターを適切に管理し、所沢市内に残る遺跡の情報を後世に伝えるとともに、市民等に発掘調査で得られた情報を公開する。																								
		244日	4件																																		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
				会計	投入コスト		活動実績(R4)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
563	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標値は達成できなかったが、資料保存のためのマイクロフィルム化やデータDVD化は計画的に進めることができています。	R4年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに			
		重要	自治事務		3,651千円	3,645千円								マイクロフィルムに撮影した古文書のコマ数	資料特別利用許可申請件数	資料の形態が、古文書・民具など多岐にわたり、整理進捗状況について数値化することが困難であるため、数値化が可能な資料特別利用許可申請件数を指標とした。
		根拠法令	3,699千円		3,513千円	資料特別利用許可申請件数										
		所沢市ふるさと研究資料の利用等に関する要綱	R4予算現額		R4決算額(見込み)	資料寄贈・寄託者数								R3目標	R3実績	R4目標値が未達成の理由・分析
		事業の目的及び具体的内容	R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	実績								40件	46件	
		まちづくりの資源として資料(ふるさと研究資料)を収集し、積極的に活用できるように整理するとともに、資料の劣化と亡失を防ぐ手立てを構築することを目的とする。これまでに収集した資料は、活用できるように把握・整理を進める。また、資料(民具など)の受け入れを可能な範囲で行う。併せて、資料の代替物(マイクロフィルム・デジタルデータDVD)作成に取り組む。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	7,500コマ								R4目標	R4実績	目標値は外部依頼に基づくものであるが、本市資料を利用した展示等の開催が少なかつたことなどが想定される。
		期間	R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	29件								40件	29件	
		S63 ~	0.96人		1.05人	16人								R5目標		
			7,661千円													
			0.55人		0.8人											
	4,357千円															
563	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標値はやや達成できていないが、講演会などの事業は積極的に実施した。今後は、より多くの市民に三ヶ島餃子を知ってもらえるよう、三ヶ島公民館とも連携し、事業手法や情報発信についてさらに検討していく。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
		重要	自治事務		163千円	100千円								資料室入場者数 講演会等来場者数 冊子等販売数	利用者数(資料室・講演会来場者数と冊子等購入者延べ人数)	市民へ三ヶ島餃子を周知することを目的としているため、利用者数(資料室・講演会等来場者数と冊子等購入者延べ人数)を指標とした。
		根拠法令	163千円		112千円	R3目標										
		社会教育法、文化芸術振興基本法	R4予算現額		R4決算額(見込み)	実績								600人	576人	
		事業の目的及び具体的内容	R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	444人								R4目標	R4実績	月1回のボランティア解説は例年通り実施したが、資料室入場者数は増えなかった。また、9月に開催した講演会では、申込者は多かったものの、新型コロナウイルス感染症への不安からなのか、当日のキャンセルが多かった。
		郷土出身の歌人・三ヶ島餃子を広く伝え、市民が先人への理解を深めるとともに、ふるさと所沢を愛する心を育てることを目的とし、講演会等の開催、三ヶ島餃子資料室だより「われもこう」の発行、市民ボランティアによる展示解説会等を行う。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	66人								600人	559人	
		期間	0.37人		0.05人	49冊								R5目標		
		H6 ~	2,953千円													
			0.30人		0.2人											
			2,377千円													
563	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般	R3予算現額	R3決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	目標値は達成できなかったが、令和3年度よりも数値は上昇しており、感染症対策を講じて様々な事業を実施してきた成果は表れている。今後も、より多くの市民に「ふるさと所沢」に興味関心を持ってもらえるよう、魅力の発信手法について検討していく。	R4年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
		重要	自治事務		10,050千円	9,526千円								参加・利用者数 企画事業開催数 事業に協力した市民学芸員の延べ人数	展示見学者・講座参加者・閲覧学習室利用者の延べ人数	ふるさと研究活動の周知と市民参加が目的のひとつであるため、参加者・利用者数を指標とした。
		根拠法令	11,247千円		10,997千円	R3目標										
		社会教育法、博物館法、文化財保護法	R4予算現額		R4決算額(見込み)	実績								6,000人	2,919人	
		事業の目的及び具体的内容	R3正規職員人件費		R3その他職員従事割合	4,534人								R4目標	R4実績	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、規模を縮小して事業開催をした。企画事業数は令和3年度5件に対して本年度は8件と増加している。
		所沢市の歴史や自然などの本市に関する様々な分野の資料の収集・保存・調査・研究を進め、常設展示や企画展示・講座・体験学習会などを通じて研究成果を紹介し、郷土への愛着を深めるための事業を展開する。	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	8件								6,000人	4,534人	
		期間	1.15人		1.90人	435人								R5目標		
		H7 ~	9,177千円													
			0.86人		2人											
			6,813千円													